

11月17日

埼玉県体力課題解決指定 三郷市教育課題推進研究委嘱 発表

アンケート とりまとめ

当日は、お足元の悪い中、多くの方に参観いただきありがとうございました。
また、終了後のアンケートへのご協力もありがとうございました。回答および感想をとりまとめましたので、ぜひご覧ください。

公開授業Ⅰ 6年 器械運動 鉄棒運動

4. 6年鉄棒の授業では、児童同士が「ざっくばらんに関わって」いましたか？ (0 点数)

よくできていた	38%
できていた	36%
あまりできていなかった	25%
できていなかった	0%
どちらともいえない	1%



5. 6年鉄棒の授業では、ざっくばらんに関わり合わせるために、効果的に教師の声掛けが行われていましたか？ (0 点数)

よくできていた	24%
できていた	52%
あまりできていなかった	18%
できていなかった	3%
どちらともいえない	3%



6. 6年鉄棒の授業では、ざっくばらんな関わり合いを活発にする教材・教具が効果的に活用されてましたか？ (0 点数)

よくできていた	31%
できていた	52%
あまりできていなかった	11%
できていなかった	0%
どちらともいえない	6%



7. 6年鉄棒の授業では、ざくばらんな関わり合いと運動量は調和はとれていましたか。(0 点数)

● よくできていた	52%
● できていた	31%
● 運動量が少なかった	7%
● 関わり合いが少なかった	7%
● どちらともいえない	3%



感想まとめ

- 技能が高かった。1年生からの積み重ねていく大切さを感じた。
- 黙々と何度も課題解決のために鉄棒に取り組む姿勢、教師から提示されたお手本動画を何度も確認し、また練習に取り組む等、一人一人の学びがしっかり定着されている。
- 一人一人の組み合わせ技のお手本動画を配布し、個別最適な学びを促すことができていた。
- 7分の6時間目に課題を見つける活動は、必要感が薄れているのではないか。
- それぞれの児童で課題が異なり過ぎて、視点が絞りづらい。
- 技と技のつながりに着目してめあてをたてていたので視点を絞れるとアドバイスが焦点化されると思う。

公開授業Ⅱ 5年 ボール運動 ベースボール型 (Tボール)

8. 5年ティーボールの授業では、児童同士の「ざくばらんに関わって」いましたか？(0 点数)

● よくできていた	45%
● できていた	45%
● あまりできていなかった	10%
● できていなかった	0%



9. 5年ティーボールの授業では、ざくばらんに関り合わせるために、効果的に教師の声掛けが行われていましたか。(0 点数)

● よくできていた	52%
● できていた	38%
● あまりできていなかった	10%
● できていなかった	0%



10. 5年ティーボールの授業では、ざくばらんな関わり合いを活発にするために教材・教具が効果的に活用されていま (0 点数)
したか、

● よくできていた	48%
● できていた	38%
● あまりできていなかった	10%
● できていなかった	4%



11. 5年ティーボールの授業では、ざくばらんな関わりあいと運動量の調和はとれていましたか (0 点数)

● よくできていた	45%
● できていた	41%
● 運動量が少なかった	7%
● 関わり合いが少なかった	0%
● どちらともいえない	7%



感想まとめ

- 高さを変えることができティーやチームの色にそろえるなど工夫が見られた。
- 常にランナー1塁から始めることで、ランナーを進める楽しさを味わわせることができたり、守備の思考を高める工夫が見られた。
- ラケットの握りは、イースタングリップではなくウエスタングリップのほうがボールがとぶ。
- Q今後、どんな作戦を立てさせるのか。どんな基準で選ばせるのか。
 - A. 「右に打つのをねらう」「右左に散らして打つ」など子供たちの気づきを大切に打つ方向の作戦に重きを置きました。単元後半、打力があがってきたら、守備位置など守備の作戦にも目を向けさせていきたい。

公開授業Ⅰ 2年 器械・器具を使つての運動遊び 跳び箱を使った運動あそび

12. 2年跳び箱遊びの授業では、児童同士が「ざくばらんに関わって」いましたか？ (0 点数)

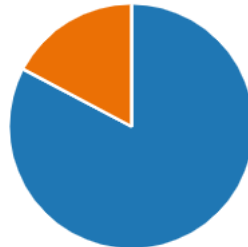
詳細

● よくできていた	89%
● できていた	11%
● あまりできていなかった	0%
● できていなかった	0%



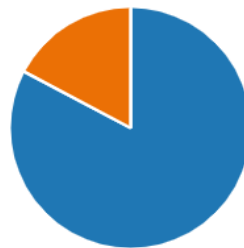
13. 2年跳び箱遊びの授業では、ざくばらんに関わりあわせるために、効果的に教師の声掛けが行われていましたか？ (0 点数)

● よくできていた	83%
● できていた	17%
● あまりできていなかった	0%
● できていなかった	0%



14. 2年跳び箱の授業では、ざくばらんな関わり合いを活発にするために教材・教具が効果的に活用されていましたか？ (0 点数)

● よくできていた	82%
● できていた	18%
● あまりできていなかった	0%
● できていなかった	0%



15. 2年跳び箱の授業では、ざくばらんな関わり合いと運動量の調和はとれていましたか？ (0 点数)

● よくできていた	86%
● できていた	14%
● 運動量が少なかった	0%
● 関わり合いが少なかった	0%
● どちらともいえない	0%



感想まとめ

- 遊びを通して夢中で取り組み、知らず知らずのうちに技能が身についていた。遊びの大事な要素「自己決定」をさせつつ、教師の意図に沿った動きができていた。
- 教師の服装、掲示物、児童のハチマキ・返事など教材に夢中になれる工夫があった。

学校全体の研究について

- Q 研究紀要の結果として、50m走、握力、ボール投げをなぜ取り上げているのか。
A. 新体力テストの県平均を下回った学年が多かったため重点目標としました。
- Q 50m走が伸びた学年はどのような取り組みをしたのか。
A. 学校全体として、8秒間走を業間運動に取り組みました。
学年としては、「スタートの姿勢」や「腕ふり」等、それぞれの課題であるポイントを押さえました。

たくさんの温かい言葉をありがとうございました。今後とも研修を深め、体力向上に努めていきます。